

ダイヤモンド就活ナビ2022 就職モニターレポート4月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2022年3月卒業予定の大学院生・大学生
- ◆有効回答 280名
- ◆調査期間 2021年4月2日（金）～2021年4月11日（日）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	理系
226名 (80.7%)	54名 (19.3%)

【回答の多かった学生】

早稲田大学、中央大学、
明治大学、明治学院大学、日本大学、
成蹊大学、立教大学、青山学院大学、
関西大学、國學院大學、北海学園大学、
千葉大学、北星学園大学、信州大学

【大学エリア別回答学生数】

北海道	50	17.9%
東北エリア	1	0.4%
関東エリア	139	49.6%
甲信越エリア	7	2.5%
東海・北陸エリア	10	3.5%
関西エリア	40	14.3%
中・四国圏エリア	32	11.4%
九州・沖縄エリア	1	0.4%
合計	280	100.0%

◆TOPICS◆

<就職活動の進捗状況>

現在の就活の進行状況での最多は「エントリーシート提出」で約8割。
内定獲得は14.6%、うち承諾した企業がある学生は11.1%。

<エントリー状況>

平均エントリー社数は29.2社と、昨年より+0.8社増。エントリーの基準は「少しでも興味があれば全てエントリーしている」が29.5%で最多。

<選考状況（エントリーシート/筆記試験/適性検査）>

【エントリーシートの提出社数】平均提出社数：12.4社。昨年平均11.4社より+1社。
【筆記・適性テスト受験社数】平均受験社数：8.7社。昨年平均8.1社より+0.6社。

<説明会・セミナーの参加状況>

個別企業説明会・セミナーの平均参加社数は13.6社、〈文系〉13.8社、〈理系〉12.6社。
現在までに参加した企業の説明会・セミナーで役に立ったと思われる内容は「Web説明会」86.8%が最多。

<就職活動観>

就職活動の環境について「苦戦するかもしれない」、「展望が見えず悲観的だ」が約8割。入社したい企業は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」が最多。

【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

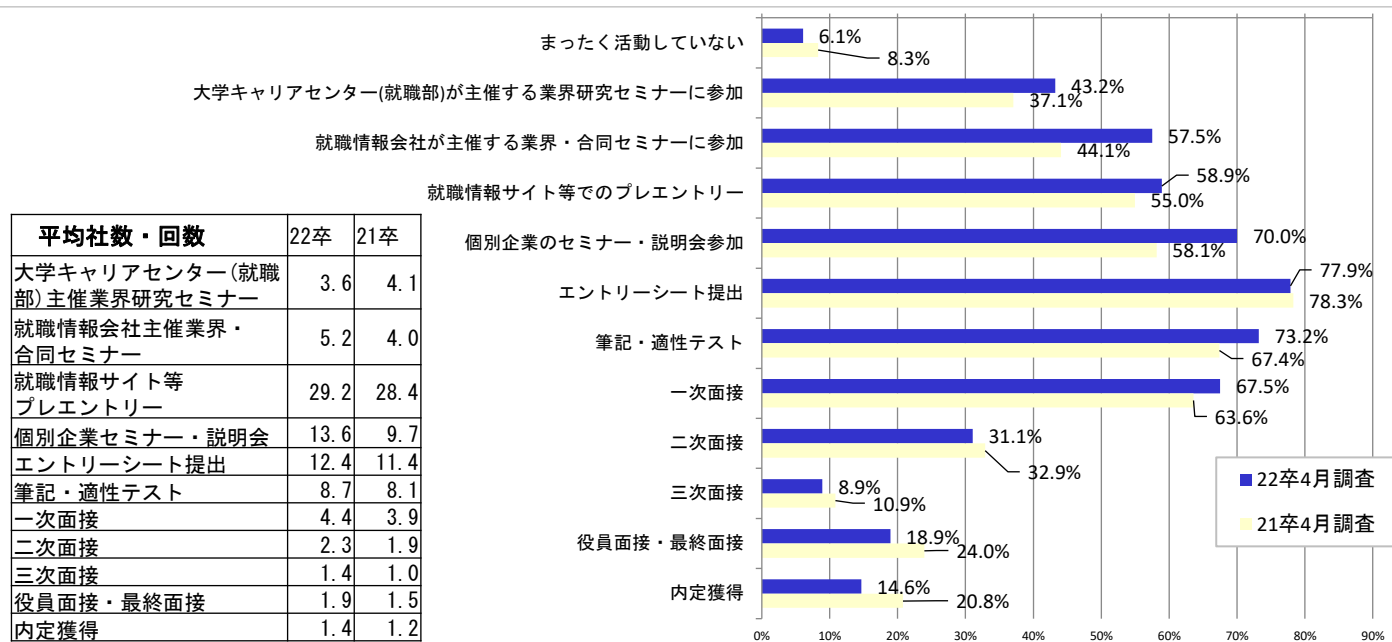
経営企画室

TEL : 03-5319-2450

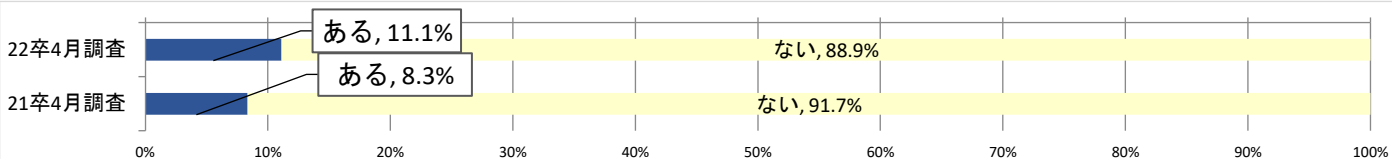
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

就職活動の進捗状況

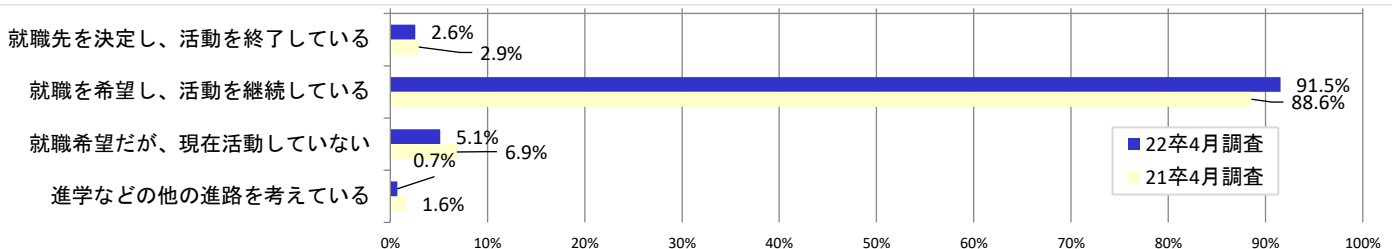
◆現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください



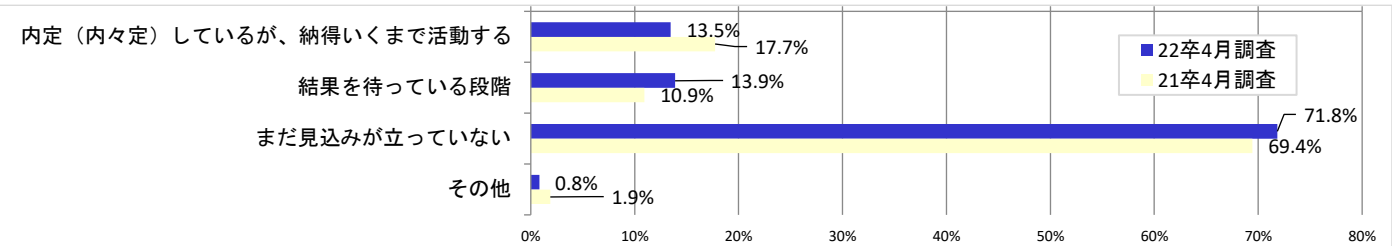
◆内定をもらった企業のうち、入社を決めた(内定を承諾した)企業はありますか？



◆現在の就活状況について、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。



◆現在の状況について、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。



現在の就活の進行状況での最多は「エントリーシート提出」で約8割。

内定獲得は14.6%、うち承諾した企業がある学生は11.1%。

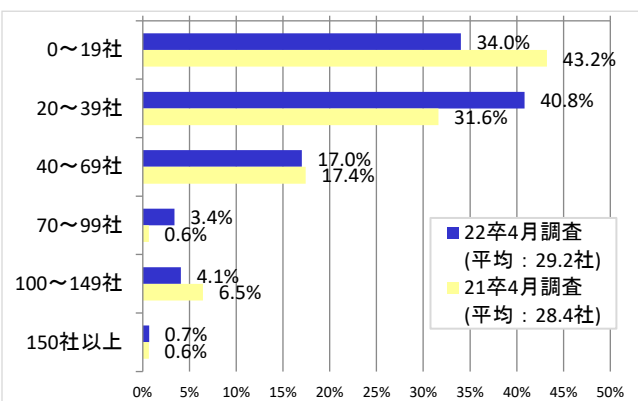
現在の就活状況は「就職を希望し、活動を継続している」学生9割以上、「内定(内々定)しているが、納得いくまで活動する」学生は13.5%。

現在の就活の進行状況は「エントリーシート提出」(77.9%、平均社数12.4社)が最も多い。早くも内定を獲得した学生は14.6%で、前年(20.8%)から▲6.2ポイント減少ながら、平均社数は微増(21卒1.2社→22卒1.4社)した。入社を決めた(内定を承諾した)学生は11.1%で、こちらは前年から+2.8ポイント増加(21卒:8.3%→22卒:11.1%)した。

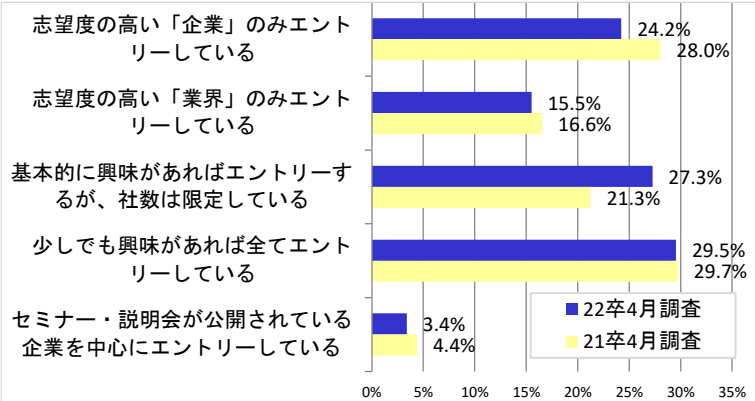
現在の就活状況は「就職を希望し、活動を継続している」(91.5%)、結果の見込みは「まだ見込みが立っていない」(71.8%)がそれぞれトップとなった。

エントリー状況

◆就職情報サイト等でのプレエントリー



◆企業にエントリーする際の基準を教えてください



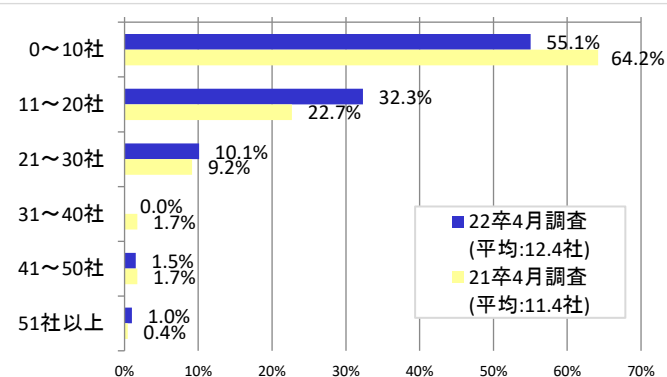
平均エントリー社数は29.2社と、昨年より+0.8社増。
 エントリーの基準は「少しでも興味があれば全てエントリーしている」が29.5%で最多。
 文理別で見るとエントリーの基準がそれぞれ異なる傾向あり。

学生一人当たりの平均エントリー社数は29.2社となり、昨年の平均28.4社より0.8社増加した。エントリーする対象の幅が広く、社数も増加している。

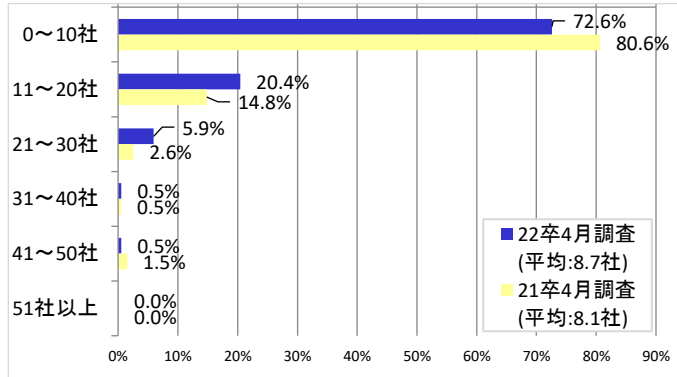
企業にエントリーする際の基準は「少しでも興味があれば全てエントリーしている」(29.5%)がトップとなり、こちらは昨年からはほぼ同様の結果となった。文系では「少しでも興味があれば全てエントリーしている」(31.3%)が最多なのに対し、理系では「志望度の高い「企業」のみエントリーしている」(26.0%)で最多となり、文理別で見るとそれぞれエントリーの基準が異なるようである。

選考状況 (エントリーシート/筆記試験/適性検査)

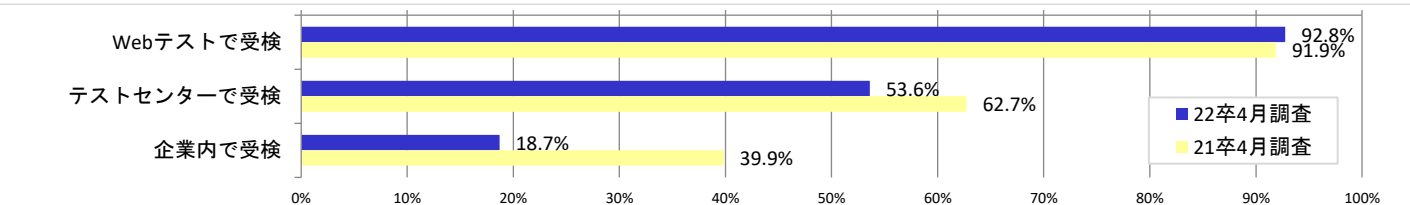
◆エントリーシート提出



◆筆記・適性テスト



◆現在までに受検した筆記試験・適性検査について、受検方法を全て選択してください。



【エントリーシートの提出社数】平均提出社数：12.4社。昨年平均11.4社より+1.0社。

【筆記・適性テスト受験社数】平均受験社数：8.7社。昨年平均8.1社より+0.6社。

受検方法は「Webテスト」で9割以上の学生が経験。

【エントリーシート】

1人当たりの平均提出社数は12.4社で、昨年平均の11.4社より+1.0社増加した。

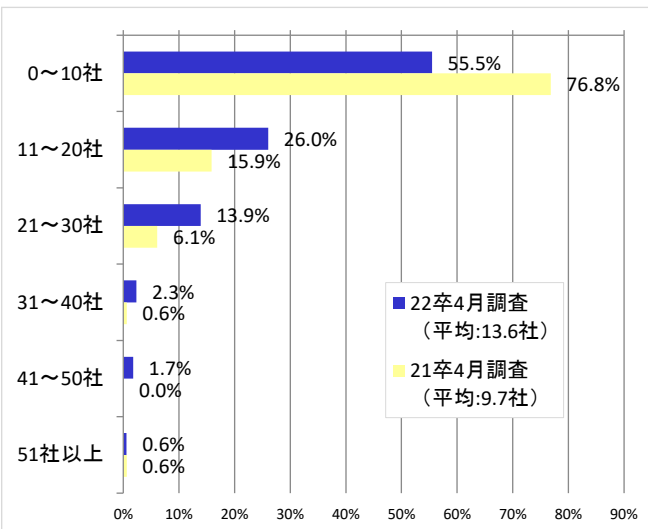
【筆記・適性テスト】

1人当たりの平均受験者数は8.7社で、昨年平均の8.1社よりも0.6社増加した。

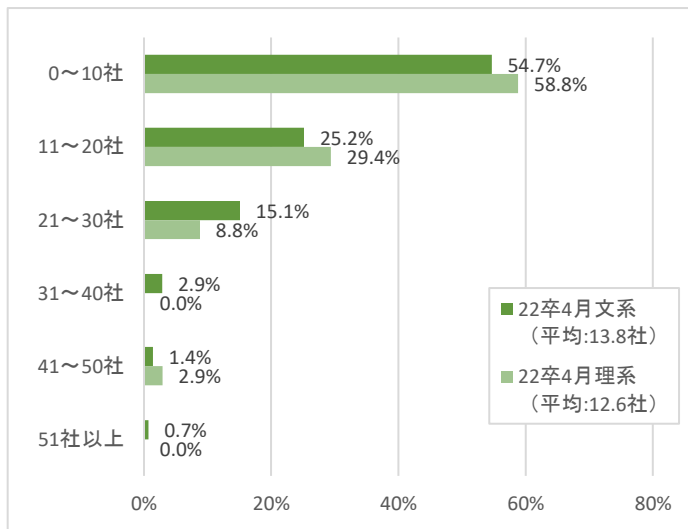
筆記・適性テストの受験方法は「Webテストで受検」(92.8%)がトップを占めた。9割以上の学生がWebテストを受検したと回答している。「テストセンターで受検」(21卒: 62.7%→22卒: 53.6%)、「企業内で受検」(21卒: 39.9%→22卒: 18.7%)は減少傾向が見られる。

説明会・セミナーの参加状況

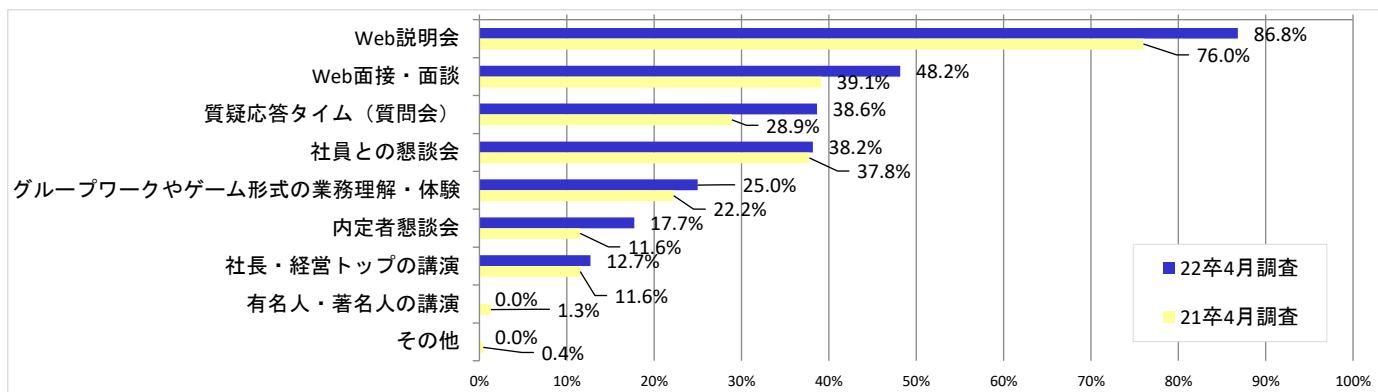
◆個別企業の説明会・セミナー参加社数



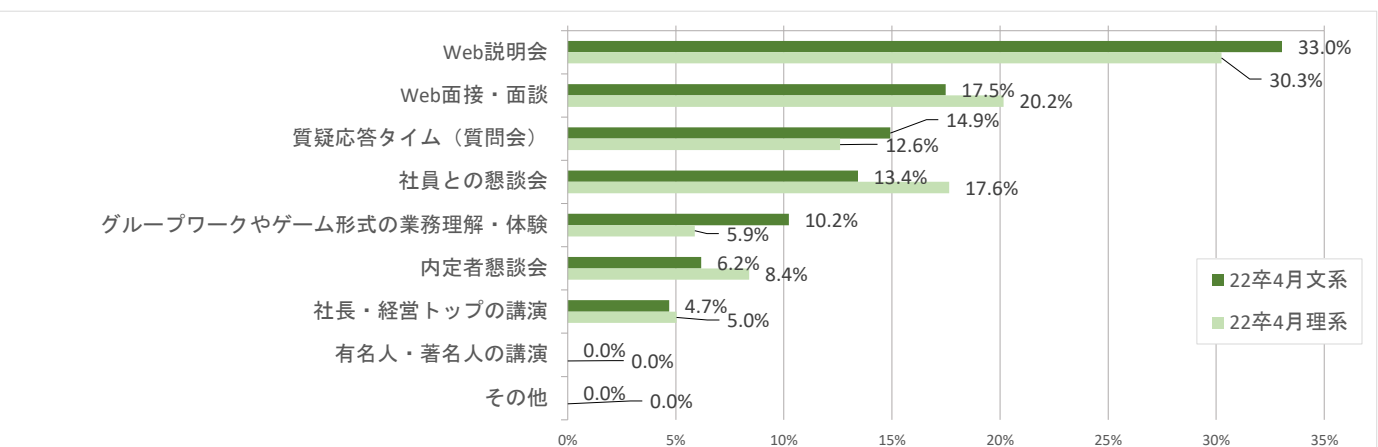
◆(22卒文理別)



◆現在までに参加した企業の説明会・セミナーで役に立ったと思われる内容をご回答ください。



◆(22卒文理別)



**個別企業説明会・セミナーの平均参加社数は13.6社、文系13.8社、理系12.6社。
現在までに参加した企業の説明会・セミナーで役に立ったのは「Web説明会」(86.8%)が最多。**

個別企業説明会・セミナーの平均参加社数は13.6社となった。

昨年同時期は緊急事態宣言により個別企業説明会の中止や延期が相次いだ。オンラインでの説明会開催が主流となったことで昨年(9.7社)から3.9社増加した。

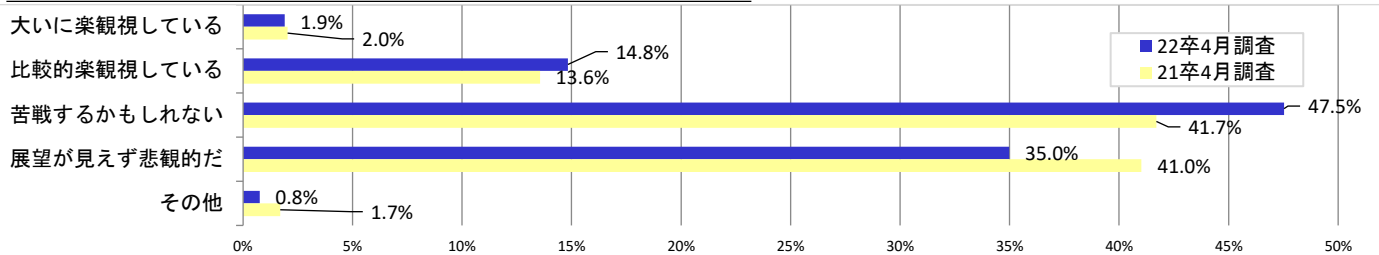
文理別では文系は13.8社、理系は12.6社と文系が1.2社多い結果となった。

参加した企業の説明会・セミナーで役に立ったのは「Web説明会」が最も多く、(21卒:76.0%→22卒:86.8%)と10.8ポイント増加した。

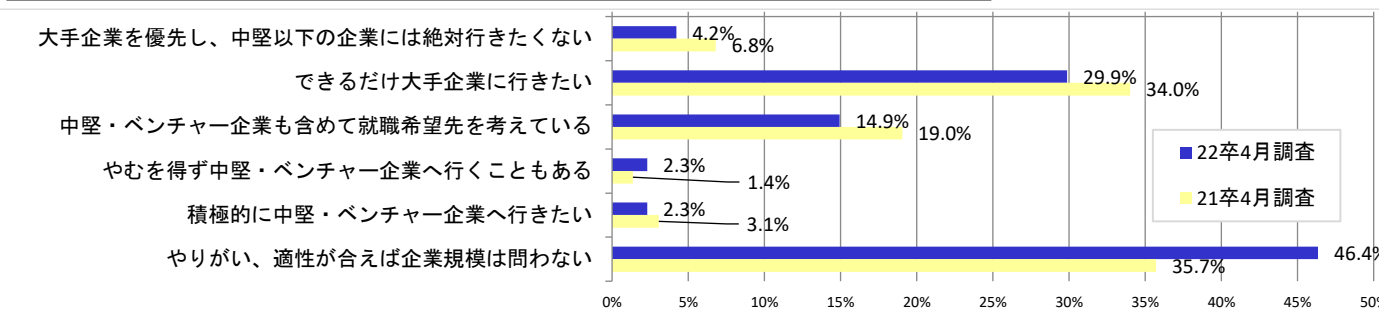
次いで「Web面接・面談」(21卒:39.1%→22卒:48.2%)と就職活動のオンライン化が進んでいることがうかがえる。

就職活動観

◆就職活動の環境について、どのような感想をお持ちですか？



◆どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものを教えてください



◆印象に残ったセミナーとその理由を教えてください。

WEB/対面	業種	形式	印象に残った理由
Web	金融	社員座談会	現地からzoomで参加してくれる社員が多かったから。
Web	情報・通信	パネルディスカッション	人事担当の方がおらず、若手の社員だけで行われており、より具体的な話が聞けたから。
Web	製造	業務内容や仕事紹介	社長が登場されて、直接質問をすることができる機会が設けられていたから。
Web	製造	社内の風景の中継	オフィスの様子をリアルタイムで中継してくれ、実際に働く様子を想像しやすかった。
Web	建設・不動産	現場体験	リアルな作業場を見ることが出来た。
Web	製造	ローテーションで社員と座談会	個別のグループに分かれて少人数制で座談会を行ったため。
Web	サービス	座談会	事前に動画視聴型の会社説明会があり、オンラインセミナーでは質問時間に大半を割いてくれたため。
対面	金融	若手社員面談会	直接会えるから。
対面	金融	企業説明会	1対1で直接説明や相談会が行われ、また、社内案内もして頂けたから。
対面	建設・不動産	見学ツアー	実際に建物内を案内していただいたため。

◆新型コロナウイルス感染症の流行によって就職活動で困っていることがあれば教えてください。

選考直結のイベントが対面で行われていると知った時、家族に医療従事者がいてなかなか都内へ行けない身として不自由を感じた。
対面式の面接や説明会では感染しないか心配になっている。
アルバイト収入が減っているの、何社も回る交通費を出すのが辛いのと、友人と会えないので情報交換がしにくいこと。
周囲の状況が見えず、情報が少ないので本当に不安。相談できる人も少なく、精神的に孤立している。
お互いの就職活動の状況を話し合い、アドバイスしあう機会が全くないので不安のまま就職活動をしています。
つながりが持てないため、モチベーションを維持することが大変。自分のリズムもつかめない。
オンライン面接だと入室が雑になってしまいがち（特にグループ面接）
昨年思ったように部活動ができなかったため、エピソードがあまり思い浮かばないこと。
マスクによって面接官の反応がいまいちわからない。
Web説明会が多く、資料が貰えず、会社の雰囲気かわからない。
いちばん興味があった職種が、コロナウイルスの影響を受け、ほとんど新卒を採用していないこと。
テレワークが主流となっているこの世の中で、募集人数が減っているのではないかと心配している。
業界によっては、エントリーすらできないこと。ずっとあこがれていた業界も、応募以前に諦めた。
テストセンターでなく自宅受験が増え、結果を使い回せない。
説明会、面接が中止、変更になること。

就職活動の環境について「苦戦するかもしれない」が約47.5%、「展望が見えず悲観的だ」が約35.0%で合計約8割の学生が悲観的。

入社したい企業は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」が約半数に。

Webセミナーでも、具体的な説明等で職場のことをより深く理解できるものが印象に残った模様。

就職活動の環境について「苦戦するかもしれない」(47.5%)と「展望が見えず悲観的だ」(35.0%)で約8割の学生が悲観的。入社したい企業は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」(46.4%)が最多となった。新型コロナウイルス感染症の流行によって困っていることは採用スケジュールや感染への不安、情報共有のしにくさなどが挙げられた。

「具体的に職場の様子を知ることができた」セミナーが学生の印象に残っている様子。